

教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

学年の目標

・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 ・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点

月	内容のまとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	開国と近代日本の歩み	明治維新	・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ・立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	・事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代の日本と世界について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	開国と近代日本の歩み	日清・日露戦争と近代産業	・立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	・事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代の日本と世界について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
3	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と日本	・「第一次世界大戦中のヨーロッパ戦線」などを用いて、第一次世界大戦の広がりを読み取っている。 ・第一次世界大戦の概要を、原因・経過・結果から理解し、その知識を身に付けている。	・第一次世界大戦の背景を、帝国主義などの考えを基にして説明している。 ・第一次世界大戦後の国際情勢を、日本と世界の動きを関連させながら考えている。	・第一次世界大戦の原因や、現在まで続く民族問題に関心を持っている。 ・多くの民衆運動が起こった背景について、調べたり考えたりしている。
評価方法			定期テスト、単元テスト、振り返りシート	定期テスト、単元テスト、振り返りシート、発表、グループ学習	振り返りシート、提出物の内容、班学習、発表、単元テスト

学習の進め方

〈グループ学習〉
 ・共有課題をしっかりと話し合い、そのうえでジャンプ課題に取り組む。
 ・ジャンプ課題から理解した内容を、グループ内で交流できる。
 ・振り返りシートに振り返りがまとめられる。
 〈家庭学習・テスト勉強〉
 ・社会的な事象に関心を持ち、授業で学習した内容との関連を見出す。
 ・振り返りシートにまとめた振り返りを確認する。
 ・ワークで学習した範囲を復習する。ワークの問題を何度も繰り返し取り組むと良い。
 ・単元のまとめテストにしっかりと取り組む。
 ・単元テストも定期テストの範囲となるので、テスト前に復習しておく。